

②環境

パウンターは以下の会社を対象範囲としています。

キリンビール、キリンディスティラリー、スプリングハールブルワリー、永昌源、麒麟啤酒（珠海）有限公司、キリンビバレッジ、信州ビバレッジ、北海道キリンビバレッジ、キリンメンテナンス・サービス、キリン・トロピカーナ、キリンビバレッジサービス各社（北海道、仙台、東京、中部、関西）、酒造ダイチベンディング、キリンビバックス、東海ビバレッジサービス、ライオン、New Belgium Brewing Company、協和キリン、協和キリンフロンティア、協和メディカルプロモーション、協和キリンプラス、協和発酵麒麟（中国）製薬有限公司、Kyowa Kirin Pharmaceutical Research、メルシャン、日本カール、第一アルコール、ワインキュレーション、ミンマー・アルコール、インターフード、ベトナムキリンビバレッジ、AZUMA KRIRIN、シアプロ・ゼステスディアリー、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル、協和エンジニアリング、BioKyowa Inc.、上海協和アミノ酸有限公司、Thai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd.、キリンホールディングス、キリンビジネスエクスパート、キリンビジネスシステム、小岩井乳業、キリンエコー、キリンアンドコミュニケーションズ、キリンエンジニアリング、キリンシティ、キリンテクノシステム、キリングループロジスティクス

指標の補足説明や、パウンターが上記と異なる場合の説明については「指標」欄の※をクリックしてください。

	指標	パウンター	2018	2019	2020	2021	参照ページ	(リンク先)	
生物資源	レインフォレスト・アライアンス認証取得支援小規模農圃数		120	120	2,120	2,120	持続可能な生物資源の利用	https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/3_1a/	
	一次原料・二次原料におけるパーム油認証取得割合（％）	持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO）が承認する持続可能な認証油の購入方式（Book&Claim方式）。パーム油認証可能	100	100	100	100			
水資源	淡水使用量（千m ³ ）		73,675	65,853	55,702	50,278	持続可能な水資源の利用	https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/3_2/	
	日本		58,120	50,333	40,187	35,485			
	オセアニア		2,733	2,658	2,689	2,483			
	東南アジア		2,811	3,654	3,449	2,945			
	その他		10,011	9,178	9,377	9,365			
	工場・事業所内におけるリサイクル水利用量（千m ³ ）		105,010	105,433	89,788	88,805			
	工場・事業所内におけるリユース水利用量（千m ³ ）		18,993	15,901	3,864	1,978			
排水量（千m ³ ）		69,491	65,214	52,340	48,323				
容器包装	容器包装の資源利用量（千t）		626	542	524	480	容器包装の持続可能な循環	https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/3_3a/	
気候変動	温室効果ガス排出量（千tCO ₂ e）		5,012	5,045	4,739	4,411			
	スコープ1	燃料は、オーストラリア・ニュージーランドは各国が定める係数を使用。それ以外は「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」（環境省・経済産業省）係数を使用。 電力は、各電力事業者が広報する排出係数を使用。無い場合は、当該年のIEA「CO ₂ Emissions from Fuel Combustion」より国別の排出係数を使用。	キリンビール、キリンディスティラリー、スプリングハールブルワリー、永昌源、キリンビバレッジ、信州ビバレッジ、北海道キリンビバレッジ、キリンメンテナンス・サービス、キリン・トロピカーナ、キリンビバレッジサービス各社（北海道、仙台、東京、中部、関西）、酒造ダイチベンディング、キリンビバックス、東海ビバレッジサービス、ライオン、New Belgium Brewing Company、協和キリン、協和キリンフロンティア、協和メディカルプロモーション、協和キリンプラス、協和発酵麒麟（中国）製薬有限公司、Kyowa Kirin Pharmaceutical Research、メルシャン、日本カール、第一アルコール、ワインキュレーション、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル、協和エンジニアリング、BioKyowa Inc.、上海協和アミノ酸有限公司、Thai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd.、キリンホールディングス、キリンビジネスエクスパート、キリンビジネスシステム、小岩井乳業、キリンエコー、キリンアンドコミュニケーションズ、キリンエンジニアリング、キリンシティ、キリンテクノシステム、キリングループロジスティクス	377	393	372	368	気候変動の克服	https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/3_4a/
	スコープ2	燃料は、オーストラリア・ニュージーランドは各国が定める係数を使用。それ以外は「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」（環境省・経済産業省）係数を使用。 電力は、各電力事業者が広報する排出係数を使用。無い場合は、当該年のIEA「CO ₂ Emissions from Fuel Combustion」より国別の排出係数を使用。	キリンビール、キリンディスティラリー、スプリングハールブルワリー、永昌源、キリンビバレッジ、信州ビバレッジ、北海道キリンビバレッジ、キリンメンテナンス・サービス、キリン・トロピカーナ、キリンビバレッジサービス各社（北海道、仙台、東京、中部、関西）、酒造ダイチベンディング、キリンビバックス、東海ビバレッジサービス、ライオン、New Belgium Brewing Company、協和キリン、協和キリンフロンティア、協和メディカルプロモーション、協和キリンプラス、協和発酵麒麟（中国）製薬有限公司、Kyowa Kirin Pharmaceutical Research、メルシャン、日本カール、第一アルコール、ワインキュレーション、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル、協和エンジニアリング、BioKyowa Inc.、上海協和アミノ酸有限公司、Thai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd.、キリンホールディングス、キリンビジネスエクスパート、キリンビジネスシステム、小岩井乳業、キリンエコー、キリンアンドコミュニケーションズ、キリンエンジニアリング、キリンシティ、キリンテクノシステム、キリングループロジスティクス	472	441	384	354		
	スコープ3	2019年以降、ライオンの飲料事業を除き、排出原単位を産総研が提供するLCAデータベース（IDEA）に変更	キリンビール、キリンディスティラリー、キリンビバレッジ、信州ビバレッジ、ライオン、協和キリン、協和発酵麒麟（中国）製薬有限公司、Kyowa Kirin Pharmaceutical Research、メルシャン、第一アルコール、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル、BioKyowa Inc.、上海協和アミノ酸有限公司、Thai Kyowa Biotechnologies Co., Ltd.、キリンホールディングス、小岩井乳業、キリングループロジスティクス	4,163	4,211	3,983	3,689		
	売上収益あたり温室効果ガス排出原単位【tCO ₂ e/百万円】	エネルギー使用量（TJ）		0	0	0	0		
廃棄物削減と汚染防止	廃棄物発生量（千t）		11,843	11,421	11,182	10,922	環境報告書（資料・データ編）	https://www.kirinholdings.com/jp/investors/files/pdf/environmental2022_11.pdf	
	再資源化率（％）		417	431	272	312			
	NOx排出量（t）		100	100	100	100			
	SOx排出量（t）		397	380	403	356			
	VOC排出量（t）		19	13	10	12			
	PRTR法第1種指定化学物質排出量（t）	協和キリン、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル	481	314	242	393			
		協和キリン、協和発酵バイオ、協和ファーマケカル	57	49	35	47			
環境マネジメント	環境監査実施会社数	本社環境マネジメントシステム事務局（キリンホールディングスCSV戦略部）が企画、実施した監査（事業所内の内部監査は除く）	キリンホールディングス、キリンアンドコミュニケーションズ、キリンビジネスエクスパート、キリンエコー、協和発酵バイオ、小岩井乳業、キリンシティ、キリンビール、バイネケン・キリン、永昌源、ブルックリン・キリン・ジャパン、ケールサービス東日本、キリンビバレッジ、北海道キリンビバレッジ、北海道キリンビバレッジサービス、東京キリンビバレッジサービス、東海キリンビバレッジサービス、中部キリンビバレッジサービス、関西キリンビバレッジサービス、メルシャン、日本カール	13	10	16	21	環境報告書（環境経営）	https://www.kirinholdings.com/jp/investors/files/pdf/environmental2022_10.pdf
	環境研修受講者数	ものづくり人材開発センターおよびキリンホールディングスCSV戦略部開催の研修受講者。2020年以降はオンライン開催	国内事業会社	320	290	567	735		
	環境汚染に影響する重大な事故及び違反		0	0	0	0			